

匿名寄付 あなたに一目

福祉に役立てて — 毎月欠かさず

市社協に12年半で144回

拝啓 明石市社会福祉協議会（市社協）
に寄付を続けるあなたへ

寄付に添えられた手紙＝貴崎 1

初めまして。突然のお手紙、失礼します。
市社協の職員さんから、あなたが2005年10月
から12年半、寄付を続けていると聞きました。
今年2月15日に届いた144回目で、計139万5
千円となったそうですよ。

同封されている手紙は、「《前略 福祉に役
立てて下さい》という短い言葉と金額、日付
だけ。

消印は「明石」。金額は5千円～1万5千
円と月によって違うようですが、ほぼ毎月寄
付を続けられたのですね。

職員さんは「毎月欠かさず、送ってくれる
人はいない」と、とても感謝しています。

安心してください。あなたの思いは伝わり、
市社協内の「善意銀行」に預け、明石市内の
福祉施設やボランティアグループに届けられ
ています。ただ、職員さんが声をそろえるの
は、「一体どんな方だろう？ 一目会って直
接お礼がしたい」ということです。

そんなあなたの人となりを感じられたこと
が一度だけありました。142回目の寄付とな
った昨年12月13日のこと。約2カ月前に発生
した大蔵中町の商店街「大蔵市場」の火災に
ついて、手紙が添えられていました。

《優しく分け隔てなく、（子どもたちを）
見守って下さった大蔵地区にとっても感謝》

《市場の魚のおいしかったこと。主人は魚



釣りに 毎日曜日は家族で魚釣りが日課にな
りました》

《心ばかりですがお見舞いと同封しまし
た》

これらの言葉とともに、「善意銀行1万円」
「市場の人たちへ5千円」と記されていま
した。

このような文面に、職員さんは「子育てを
終えられた女性かな」などとあなたの顔を思
い浮かべています。「公表しないので、そっ
と会いに来てほしい」とも話しています。

この記事を読まれることがあれば、職員さ
んに連絡してほしいのです。市社協 ☎078・
924・9105です。

そして、温かい気持ちをずっと送り続け
てきたあなたに、私もお会いしたいです。

名前【 】

①寄付はいつから続いていますか？
年 月～ 年 月まで

②この寄付金は明石市社会福祉協議会に届き
ますが、そこからどこに預けられ、さらにどこに
届けられると書かれていますか？

【 】に預けられ、

【 】や【 】

に届けられている。

③これは匿名の方からの寄付ですが、あなた
はこの記事を読んで、どんな人が届けていると
思いますか？男性でしょうか女性でしょうか？
年齢は？ペットを飼っているでしょうか？など
想像できるだけ書きましょう。

職員「お礼がしたい」

敬具 神戸新聞明石総局 藤井伸哉

